

平成19年度予算の概要

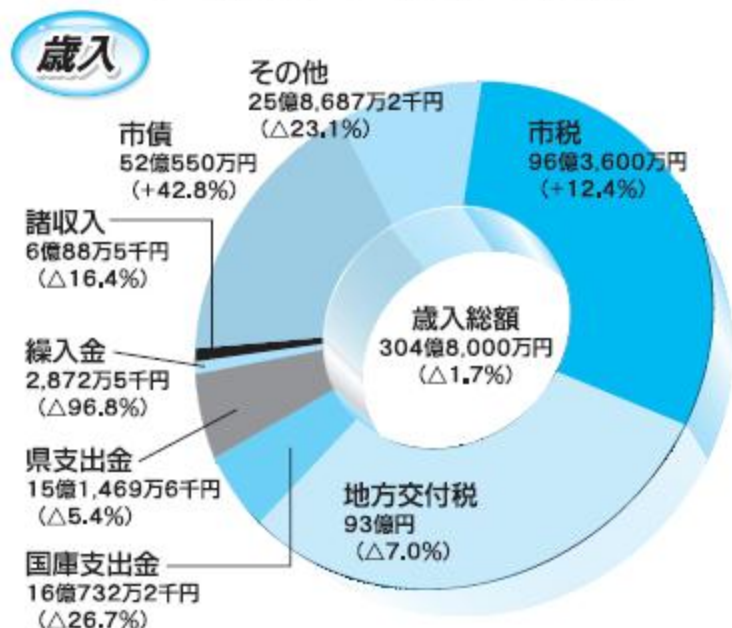
総額564億8,291万7千円

(一般会計304億8,000万円)

基本テーマは

「自立と連携」

「持続可能なふるさと創造」



市議会定例会において、平成19年度予算案が可決され、成立いたしました。

一般会計予算の総額は、304億8,000万円で、特別会計・企業会計を合わせた総額は、564億8,291万7千円となりました。

重点施策

I 次代を担う人を育てるまちづくり

- ・ブックススタート事業
- ・七尾学推進事業
- ・特別支援教育支援員配置事業 ほか

II 町全体が生き生きとした仕事のあるまちづくり

- ・いわねななお交流事業
- ・中京圏交流促進事業
- ・農業参入支援事業 ほか

III 子どもからお年寄りまでが安心できる住みやすいまちづくり

- ・ケーブルテレビ施設整備事業
- ・保育力向上支援事業
- ・国民保護計画策定事業 ほか

IV 後世に誇れる美しいまちづくり

- ・農山村地域活性化推進事業
- ・浄化槽市町村整備施設事業 ほか

V 自ら考え自ら行う市民参加のまちづくり

- ・七尾市総合計画策定事業
- ・「人が輝く交流体感都市」七尾づくり提言募集事業 ほか

平成19年度 予算編成にあたって

七尾市長 武元 文平

市の財政状況については、ご承知のとおり、税などの自主財源の減少や、三位一体改革の影響を大きく受け、歳入が歳出を支えきれないという危機的な状況です。このような厳しい財政状況の中、平成19年度は、事業の見直しによる徹底した歳出削減を行い、基金が枯渇し財政危機に陥らないよう、財政調整基金を取崩さず予算編成を行いました。また、地方債の適

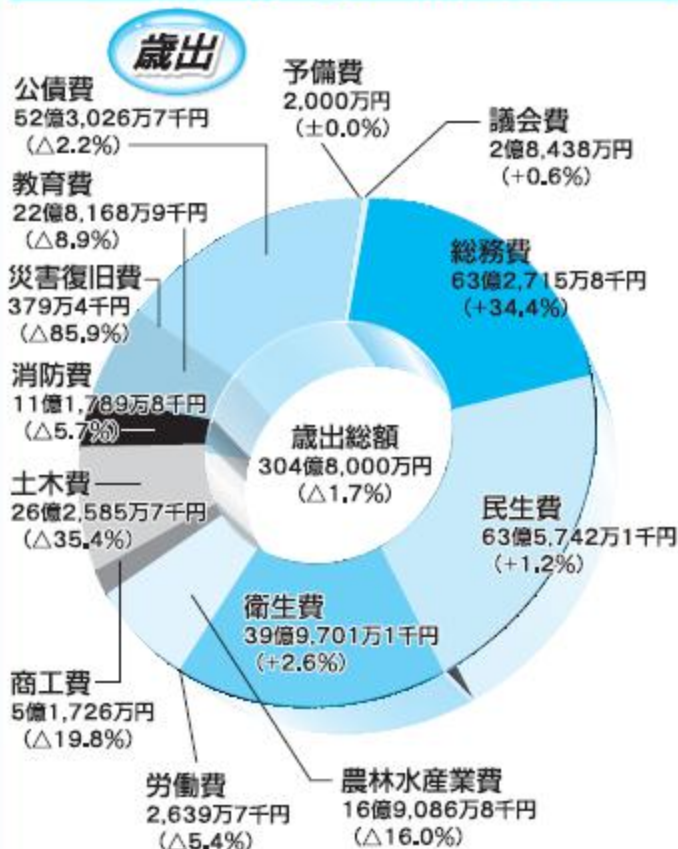
正運用による将来への公債費負担の抑制や、行財政改革を継続することにより、簡素で効率的な行政システムを早急に確立し、将来にわたって持続可能な行政運営と財政基盤の安定を図っていきます。この予算編成の基本テーマである「自立と連携」持続可能なふるさとの創造」では、教育環境の充実や地場産業の活性化、交流人口の拡大、子育て支援体制の充実、高

齢者の生活支援の更なる充実を図るとともに、魅力あるふるさとを創造すべく、七尾の魅力発見と再認識のための七尾学推進事業や、地域の魅力を発信するいいわねななお交流事業などを新たに実施します。

また、将来に向けた情報通信基盤の整備として、ケーブルテレビ施設整備事業を本格着工し、情報通信体制の強化を図ります。七尾市総合計画策定事業においては、市民のみならず、ご意見を十分にいたしながら、本市の将来像である「人が輝く交流体感都市」を目指し、その策定にあたります。今後の経済変動や地域社会の外的要因にも耐えられる、能登の核都市にふさわしい健全・堅実な自治体経営を実現するため、みなさまには、引き続き深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般会計

() 対前年伸率



特別会計

() 対前年伸率

(公営企業以外の特別会計)

公共用地先行取得事業特別会計	4,591万2千円	(△0.9%)
ケーブルテレビ事業特別会計	7,933万円	(△1.6%)
墓地公園事業特別会計	23万8千円	(△13.1%)
国民健康保険特別会計	64億9,483万6千円	(+10.3%)
老人保健特別会計	69億3,130万1千円	(△10.7%)
介護保険特別会計	50億6,998万7千円	(+2.6%)
簡易水道事業特別会計	2億1,727万円	(△12.5%)
下水道事業特別会計	40億2,885万5千円	(△2.4%)
観光施設事業特別会計	1億118万4千円	(△0.7%)
公設地方卸売市場事業特別会計	1億3,235万7千円	(△2.3%)
分譲宅地造成事業特別会計	2,223万円	(△1.6%)
工業団地造成事業特別会計	606万5千円	(±0.0%)
西岸財産区特別会計	12万円	(±0.0%)
水道事業会計(公営企業会計)	28億7,323万2千円	(△7.4%)